

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

地域から信頼され尊敬される企業集団として、「安心」「安全」「快適」な公共交通を提供し、地域の発展に貢献する

2 中長期の経営戦略

1. 運輸事業の効率化

運営効率化と徹底したコスト削減に努め、収益改善に向けた取り組みを強化

2. 財務体質の強化

不動産など資産の有効活用と遊休地の売却により、有利子負債の早期圧縮を図る

3. 鉄道事業の利便性向上

特急スーパーたてやま号の設定、宇奈月温泉方面の特急延伸・増発、パターンダイヤ拡大で集客・増収

4. 軌道事業の輸送力増強

平日朝ラッシュ時の富山駅・富山大学前間および富山港線区間の増発、2026年3月に新造低床車両T100形導入

3 対処すべき課題

① 鉄道事業の経営危機

- ・ 動力費・部材高騰により多大な損失。2026年度は鉄道ネットワーク維持を確保
- ・ 2027年度以降の本線、立山線、不二越・上滝線3路線の方向性を早急に定める

② 労働力不足と安全課題

- ・ 交通業界全体での労働力不足が深刻。運転士確保が鉄道事業の課題
- ・ 2023年の鉄道人身障害死亡事故を厳粛に受け止め、安全対策を徹底

③ インバウンド需要と地元需要

- ・ 中国・香港からの観光客減少により、インバウンド需要に課題
- ・ 人口減少・少子化による地元客の需要減少が継続

面接で使えるポイント

- ・ 富山駅付近連続立体交差事業で2026年度に橋脚・上部工の構築と高架駅舎本体工事を推進中
- ・ 2026年3月に9年ぶりの新造低床車両T100形を導入し、軌道事業のサービス向上を実現
- ・ 2026年6月に全国大会をボウリング事業に誘致し、付帯事業の強化を通じた地域貢献を推進

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
108億円営業利益率
▲0.9%財務健康度
33点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 37.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

